

第 4 期徳島県がん対策推進計画の
進捗状況について

3 第4期徳島県がん対策推進計画 ロジックモデル・評価指標

【がんの一次予防】

生活習慣について	個別施策				施策効果(中間アウトカム)				最終目標(分野アウトカム)						
	番号	指標項目	基準年	R7年度評価	目標	番号	指標項目	基準年	R7年度評価	目標	番号	指標項目	基準年	R7年度評価	目標
	1	生活習慣とがんに関する正しい知識の普及啓発を図る	①10校 1,126名 ②41施設1,253名 (R4年度)	①10校 1,035名 大学祭等3カ所 ②57施設2,906名 (令和6年度)	維持・増加	1	受動喫煙の機会を有するものの減少	職場19.5% 家庭9.1% 飲食店9.9% (R4年)	職場15.7% 家庭5.9% 飲食店11.5% (R6年)	受動喫煙のない 社会の実現	1	がんの年齢調整罹患率が減少している	372.7 (男性425.2 女性334.7) (R元年)	359.8 (男性413.0 女性322.1) (R3年)	減少
		指標					①ここに響け！がん検診メッセージ事業出前講座実施数 ②保健所におけるたばこ対策出前講座の実施数					がんの年齢調整罹患率(75歳未満) (全国がん登録 人口10万対)			
		2					公共施設等における受動喫煙防止対策の推進					1,212事業所 (R5年7月時点)			
	3	禁煙希望者が禁煙できる	170施設 (R6年1月1日現在)	157施設 (R7年12月1日現在)	維持	3	肥満(BMI25以上)の割合の減少	男性39.5% 女性21.5% (R4年)	男性38.0% 女性22.8% (R6年)	男性28% 女性19%	3	指標	肥満(BMI25以上)の割合 (県民健康栄養調査)		
	4	医療機関における禁煙外来を実施している医療機関数 (四国厚生支局ホームページ(保険医療機関・保険薬局の管内指定状況等について))				4	脂肪エネルギー比率の適正化	総数(20歳代)31.1% 総数(30歳代)30.0% 総数(40歳代)29.1% (R4年)	総数(20歳代)29.9% 総数(30歳代)30.3% 総数(40歳代)29.9% (R6年)	30%未満	4	指標	脂肪エネルギー比率の適正化 (一日当たりの平均摂取比率) (県民健康栄養調査)		
	5	食塩摂取量の減少				5	食塩摂取量の減少	9.8g (R4年)	9.4g (R6年)	7.0g	5	指標	食塩摂取量の平均値 (県民健康栄養調査)		
	6	野菜摂取量の増加				6	野菜摂取量の増加	309g (R4年)	288g (R6年)	350g	6	指標	野菜摂取量の平均値 (県民健康栄養調査)		
	7	果物摂取量の改善				7	果物摂取量の改善	63.1% (R4年)	55.4% (R6年)	30.0%	7	指標	果物摂取量(100g未満の者)の割合の減少 (県民健康栄養調査)		

感染症対策について

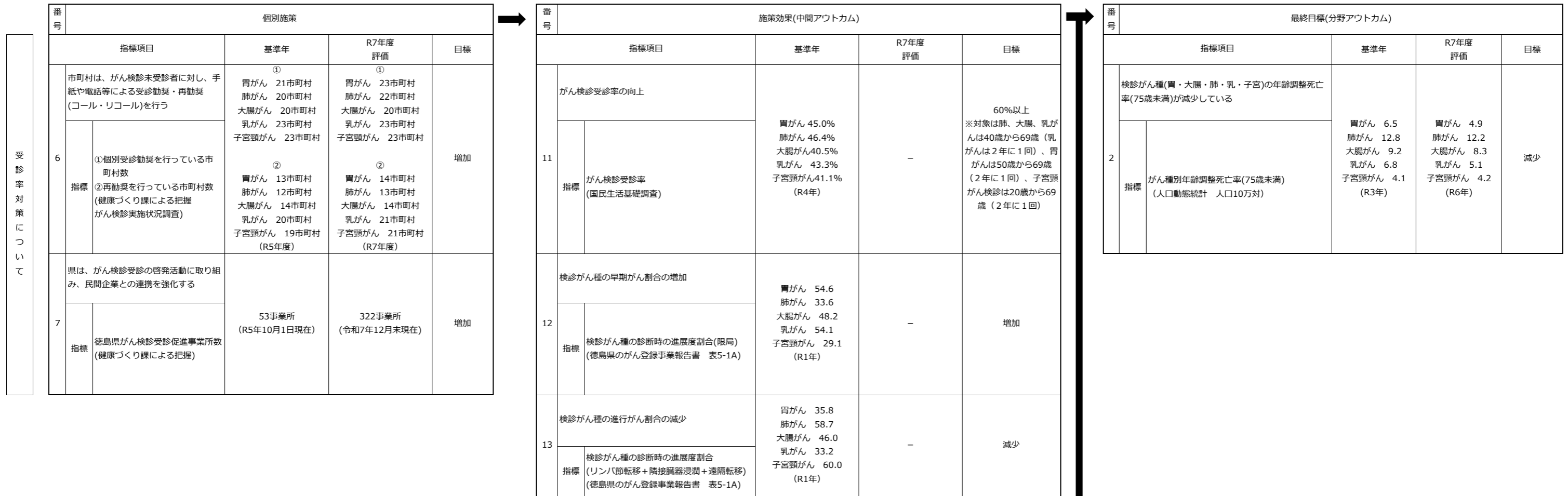
指標項目	基準年	R7年度評価	目標
4 発がんに寄与するウイルスや細菌感染について、正しい知識の普及啓発を図る	10校 1,126名 (R4年度)	10校 1,035名 大学祭等3か所 (R6年度)	維持・増加
指標 ここに響け！がん検診メッセージ事業出前講座実施数			
5 徳島県肝炎対策推進計画に基づく肝炎対策の推進	338,678件(累計) (R4年度末)	363,654件(累計) (R6年度末)	430,000件へ 増加 (累計)
指標 肝炎ウイルス検査数(累計) (感染症対策課把握)			

指標項目	基準年	R7年度評価	目標
8 運動習慣者の割合の増加	(20歳～64歳) 男性29.4% 女性16.6% (65歳以上) 男性38.8% 女性39.0% (R4年)	(20歳～64歳) 男性28.8% 女性18.4% (65歳以上) 男性39.8% 女性41.8% (R6年)	(20歳～64歳) 男性36% 女性33% (65歳以上) 男性58% 女性48%
指標 運動習慣者の割合 (県民健康栄養調査)			
9 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少	男性16.6% 女性8.4% (R4年)	男性18.3% 女性7.3% (R6年)	男性13.0% 女性6.4%
指標 1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合 (県民健康栄養調査)			

指標項目	基準年	R7年度評価	目標
10 予防ができる感染に起因するがんの予防接種実施率の増加	①第1回746人 第2回699人 第3回572人 ②95%以上 (R3年度報告)	①第1回3,077人 第2回2,478人 第3回2,268人 ②95%以上 (R5年度報告)	①増加 ②維持
指標 ①HPVワクチン接種者数 ②B型肝炎定期予防接種実施率 (地域保健・健康増進事業報告)			

第4期徳島県がん対策推進計画 ロジックモデル・評価指標

【がんの二次予防】



科学的根拠に基づくがん検診について

指標項目	基準年	R7年度 評価	目標
市町村は、科学的根拠に基づいたがん検診を実施する	24市町村 (R5年度)	24市町村 (R7年度)	維持
①厚労省が定める指針のがん検診を実施している市町村数 (健康づくり課による把握 がん検診実施状況調査)			
8 指標			
県は、各市町村担当者に対して、がん検診に関する研修会を行う	1回 (R5年度)	1回 (R7年度)	毎年開催
9 指標			
市町村向け研修会開催回数 (健康づくり課による把握)			

指標項目	基準年	R7年度 評価	目標
検診の精度管理が行われている			
14 指標			
要精検率 (地域保健・健康増進事業報告)	胃がん(X線) 9.5% 胃がん(内視鏡) 7.9% 肺がん 2.6% 大腸がん 8.8% 乳がん 7.2% 子宮頸がん 2.6% (R3年度報告)	胃がん(X線) 6.7% 胃がん(内視鏡) 6.1% 肺がん 2.2% 大腸がん 7.1% 乳がん 7.0% 子宮頸がん 2.5% (R5年度報告)	<基準値> 胃がん 7.7%以下 肺がん 2.4%以下 大腸がん 6.2%以下 乳がん 6.4%以下 子宮頸がん 2.5%以下
精密検診受診率 (地域保健・健康増進事業報告)	胃がん(X線) 85.1% 胃がん(内視鏡) 92.7% 肺がん 88.2% 大腸がん 79.5% 乳がん 92.1% 子宮頸がん 86.8% (R3年度報告)	胃がん(X線) 85.5% 胃がん(内視鏡) 92.1% 肺がん 89.3% 大腸がん 79.8% 乳がん 93.8% 子宮頸がん 84.9% (R5年度報告)	95%以上
がん発見率 (地域保健・健康増進事業報告)	胃がん(X線) 0.14% 胃がん(内視鏡) 0.34% 肺がん 0.05% 大腸がん 0.23% 乳がん 0.52% 子宮頸がん 0.03% (R3年度報告)	胃がん(X線) 0.07% 胃がん(内視鏡) 0.10% 肺がん 0.04% 大腸がん 0.19% 乳がん 0.39% 子宮頸がん 0.16% (R5年度報告)	<基準値> 胃がん 0.11%以上 肺がん 0.1%以上 大腸がん 0.21%以上 乳がん 0.31%以上 子宮頸がん0.15%以上

がん検診の精度管理等について

指標項目	基準年	R7年度 評価	目標
県、市町村、検診機関は、精度管理の向上に努める	<市町村> 胃がん 24市町村 肺がん 24市町村 大腸がん 24市町村 乳がん 24市町村 子宮頸がん 24市町村	<市町村> 胃がん 24市町村 肺がん 24市町村 大腸がん 24市町村 乳がん 24市町村 子宮頸がん 24市町村	維持
10 指標			
<市町村> 各部位ごとの「がん検診チェックリスト」による精度管理の評価結果のB評価（おおむね満たしている）以上の市町村数、検診機関数 (国立がんセンター調査結果→健康づくり課把握)	<検診機関> 令和4年度市町村が委託している検診機関に調査を行い、全検診機関がB評価以上	<検診機関> 乳がん検診、胃がん検診、肺がん検診は、全検診機関がB評価以上 子宮がん検診において2医療機関、大腸がん検診において5医療機関がC評価	
<検診機関> がん検診の精度管理調査 (健康づくり課による把握)	(R4年度)	(R6年度)	
県は、検診医や読影医等を対象とした研修会を開催する等、精度管理に努める	胃内視鏡検診従事者研修会 1回	胃内視鏡検診従事者研修会 1回	維持
11 指標			
生活習慣病管理指導等事業における研修会実施件数 (健康づくり課による把握)	乳がん検診従事者研修会 1回 (R5年度)	乳がん検診従事者研修会 1回 (R7年度)	
県は、すべての市町村及び検診機関ががん検診について「がん検診チェックリスト」を活用した精度管理が行えるよう支援する	実施 (R5年度)	実施 (R7年度)	毎年実施
12 指標			
精度管理調査の実施 (健康づくり課による把握)			

第4期徳島県がん対策推進計画 ロジックモデル・評価指標

【がん医療提供体制】

番号	個別施策			
	指標項目	基準年	R7年度評価	目標
13	拠点病院等の機能が図られる	5病院	5病院	-
	指標 がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金補助先	都道府県がん診療連携拠点病院 ①徳島大学病院 地域がん診療連携拠点病院 ②徳島県立中央病院 ③徳島市民病院 ④徳島赤十字病院 地域がん診療病院 ⑤徳島県立三好病院 (R5年度)	都道府県がん診療連携拠点病院 ①徳島大学病院 地域がん診療連携拠点病院 ②徳島県立中央病院 ③徳島市民病院 ④徳島赤十字病院 地域がん診療病院 ⑤徳島県立三好病院 (R7年度)	
14	徳島県地域がん診療連携推進病院の機能の充実	2病院 徳島県鳴門病院 阿南医療センター (R5年度)	2病院 徳島県鳴門病院 阿南医療センター (R7年度)	-
	指標 徳島県地域がん診療連携推進病院の設置数			
15	手術療法、放射線療法、薬物療法等の充実	乳がん 26(専門6,標準20) 肺がん 15(専門6,標準9) 胃がん 9(専門4,標準5) 肝がん 大腸がん 12(専門6,標準6) 子宮がん 9(専門5,標準4) (R5年度)	-	3圏域それぞれで治療が受けられる体制が維持できている
	指標 各がんにおける専門診療医療機関及び標準診療医療機関数 (徳島県医療施設機能調査)			
16	チーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている	①すべての拠点病院で実施 ②100% (R5年度)	①すべての拠点病院で実施 ②100% (R7年度)	維持
	指標 ①拠点病院等において、多職種でのカンファレンスを実施されている(現況報告) ②がん患者の口腔健康管理のため院内又は地域の歯科医師と連携して対応している拠点病院等の割合(現況報告)			
17	がんのリハビリテーションの充実	25医療機関 (R5年度)	27医療機関 (R7年度)	増加
	指標 がん患者リハビリテーション(診療報酬上)を提供する医療機関数 (医療施設機能調査)			

番号	施策効果(中間アウトカム)			
	指標項目	基準年	R7年度評価	目標
15	がん患者がどこに住んでいても、安心してがん医療を受けられる体制整備ができています	①手術療法実施件数 2,124件 ②化学療法実施件数 4,298件 ③放射線療法実施件数 773件 ④集学的療法実施件数 871件 (R5年度)	①手術療法実施件数 2,256件 ②化学療法実施件数 6,105件 ③放射線療法実施件数1,070件 ④集学的療法実施件数 922件 (R7年度)	3圏域それぞれで治療が受けられる体制が維持できている
	指標 ①手術療法実施件数 ②化学療法実施件数 ③放射線療法実施件数 ④集学的療法実施件数 (徳島県医療施設機能調査)	⑤ <外来> 東部居住患者の東部医療機関受診割合 95.6% 南部居住者の南部医療機関受診割合 70.2% 西部居住者の西部医療機関受診割合 55.3% (R3年)	⑤ <外来> 東部居住患者の東部医療機関受診割合 96.1% 南部居住者の南部医療機関受診割合 81.7% 西部居住者の西部医療機関受診割合 74.9% (R5年)	
16	医療機関等の相互の連携体制を強化し、患者の状態に応じた適切な医療が提供されている	乳がん 37医療機関 肺がん 41医療機関 胃がん 49医療機関 肝がん 44医療機関 大腸がん 49医療機関 子宮がん 26医療機関 その他 4医療機関 (R5年度)	乳がん 37医療機関 肺がん 42医療機関 胃がん 48医療機関 肝がん 45医療機関 大腸がん 48医療機関 子宮がん 28医療機関 その他 1医療機関 (R7年度)	増加
	指標 セカンドオピニオン導入医療機関数 (徳島県医療施設機能調査)			
17	がん登録の精度向上等により、地域におけるがんの状況を正確に把握・分析することにより、必要ながん対策を実施する	2.4% (R1年)	- (R3年)	低下
	指標 DCO率 (死亡情報のみで登録されたデータの割合)			

番号	最終目標(分野アウトカム)			
	指標項目	基準年	R7年度評価	目標
2	がんの年齢調整死亡率(75歳未満)が減少している	66.3 (男性86.6 女性47.0) (R3年)	63.3 (男性78.8 女性49.5) (R6年)	減少
	指標 がんの年齢調整死亡率(75歳未満) (人口動態統計 人口10万対)			
3	がんの生存率が向上している	65.7 (2014-2015年)	-	向上
	指標 5年生存率(ネット・サバイバル%) (院内がん登録) ※今後国により、全国がん登録による5年生存率が算出された場合は、そのデータを用いて比較すること。			
4	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の向上	83.5%(補正值) (H30年度調査)	-	100%
	指標 現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合 (患者体験調査)			

指標項目		基準年	R7年度 評価	目標
18	がん診療に携わるすべての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得する	1,399名 (R4年度末)	1,576名 (R6年度末)	増加
	指標 緩和ケア研修会修了者数			
19	拠点病院を中心に、緩和ケアを迅速に提供できる診療体制を整備するとともに、緩和ケアチームや緩和ケア外来などの専門的な緩和ケアの提供体制を整備する	25医療機関 (R5年度)	26医療機関 (R7年度)	増加
	指標 緩和ケアチーム設置医療機関数 (医療施設機能調査)			
20	地域連携クリティカルパスや患者手帳(治療の記録ノート)の利用促進	甲状腺がん 1 前立腺がん 87 婦人科がん 31 食道がん 0 乳がん 51 肺がん 54 肝がん 0 大腸がん 49 胃がん 16 (R4.4月～12月実績) ※拠点病院内での配布数のみ	-	増加
	指標 患者手帳(治療の記録ノート)配布数 (徳島がん対策センター調査)			
21	がん患者やその家族等が、治療開始前に生殖機能への影響について認識し、適切に意思決定ができるような体制整備を行う	妊孕性温存療法 10件 (R4年度)	妊孕性温存療法 13件 (R6年度)	増加
	指標 妊孕性温存療法研究促進事業における助成件数 (健康づくり課把握)			
22	小児・AYA世代などのがん患者・家族が、適切な医療を受けられるための環境を整備する	1医療機関(徳島大学病院) (R5年度)	1医療機関(徳島大学病院) (R7年度)	維持・増加
	指標 中国・四国小児がんネットワークに参加している医療機関の数 (中国・四国小児がんネットワーク)			
23	全国がん登録の充実及び精度の向上	①R5年度 1回 ②43施設 ③24診療所 (R5年度)	①R7年度 1回 ② 46施設 ③21診療所 (R7年度)	①毎年開催 ②③増加
	指標 ①全国がん登録実務者研修会等の開催回数 ②全国がん登録オンラインシステムでの申請可能な医療機関数 (徳島県がん登録室報告) ③全国がん登録指定診療所数 (健康づくり課把握)			
24	院内がん登録の充実及び精度の向上	7医療機関 (R3年)	7医療機関 (R5年)	維持・増加
	指標 院内がん登録(全国集計)を実施している医療機関数 (国立がん研究センター)			

第4期徳島県がん対策推進計画 ロジックモデル・評価指標

【がんとの共生】

番号	個別施策			
	指標項目	基準年	R7年度評価 目標	
25	多職種協働による在宅緩和ケア支援体制の拡充	①189か所 (令和5年10月1日現在) ②110か所 (R5年度) ③518名 (R4年)	①188か所 (令和8年1月1日現在) ②120か所 (R7年度) ③-	増加
	指標 ①在宅療養支援(機能強化型)である24時間対応の在宅支援病院、診療所の数(四国厚生支局) ②悪性腫瘍患者の在宅ターミナルケアに対応した病院、診療所の数(医療施設機能調査) ③訪問看護ステーションに従事する看護職員数(県長寿いきがい課調査)			
26	拠点病院等は、徳島がん対策センターや拠点病院等の相談支援センターにおいて、診断時からの治療の相談だけでなく、就学、就労、妊娠等の状況による悩みに応じられるよう相談支援体制を強化する	①38件/年 (R4年度報告) ②4,800件/年 (R5年度報告) ③81.3%	①29件/年 (R6年度報告) ②6,571件/年 ③86.5% (R7年度報告)	増加
	指標 ①徳島がん対策センター事業における年間相談件数(徳島がん対策センター事業報告) ②拠点病院等における年間相談件数(現況報告) ③拠点病院等の「相談支援センター相談員研修・基礎研修」の修了者の割合(現況報告)			
27	拠点病院等と民間団体による相談機関やピア・サポーター等との連携体制の構築	5 ※すべての拠点病院で連携できている (R5年度報告)	5 ※すべての拠点病院で連携できている (R7年度報告)	維持
	指標 患者団体等と連携している拠点病院の数(現況報告)			
28	相談支援等に携わる者からピア・サポーター等につなげるための仕組みの構築	令和5年度 フォローアップ研修1回(予定) (R5年度)	令和7年度 フォローアップ研修3回 (R7年度)	毎年開催
	指標 ピア・サポート研修の開催回数(健康寿命推進課)			

番号	中間アウトカム			
	指標項目	基準年	R7年度評価 目標	
18	がん患者等の就労を含めた社会的な問題への対策により、様々な社会生活・家庭生活との両立の不安が軽減され、安心して治療等に取り組むことができる	10件 (R5年度報告)	59件 (R7年度報告)	増加
	指標 拠点病院におけるがんサロン開催回数(現況報告)			
19	がん患者がその療養する場所にかかわらず、質の高いがん医療や緩和ケア等の支援を受けることができる	自宅14.5% (R3年)	自宅18.2% (R5年)	維持・増加
	指標 がん患者の在宅での死亡割合(人口動態統計)			

番号	分野アウトカム			
	指標項目	基準年	R7年度評価 目標	
5	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の向上	83.5%(補正值) (H30年度調査)	-	100%
	指標 現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合(患者体験調査)			